

ネパール政治ニュース (16年8月) ヘッドライン

政 治	
内政	<p>(1) 1日、政党間の合意で新政権を発足することができなかったため、8月3日、立法議会で投票によって新首相を選出する運びとなった。</p> <p>(2) 1日、オンサリ・ガルティ・マガル立法議会議長は、ロクマン・シン・カルキ権力乱用調査委員会(CIAA)委員長に対する緊急動議を新政権発足後に審議することで合意した。</p> <p>(3) 3日、ダハールマオイスト・センター (MC) 議長が立法議会での投票の結果、首相に選出された。</p> <p>(4) 3日、NC、マオイスト・センター、UMDFとの間で三項目合意が交わされた。2015年、マデシによる抗議活動で亡くなった人を殉難者と認定し、遺族に対しては各家庭100万ルピーの補償金を支出すること等を決定した。</p> <p>(5) 4日、ダハール首相の就任宣誓式がバンドリ大統領公邸で行われた。また、ビマレンドラ・ニディ副首相兼内務大臣 (NC)、ラメシュ・レカック・インフラ計画大臣 (NC)、クリシュナ・バハドゥル・マハラ副首相兼財務大臣 (MC)、ダルジット・シュリパリ青年スポーツ大臣 (MC)、ガウリ・シャンカル・チョーダリー農業大臣 (MC) がそれぞれ宣誓を行った。</p> <p>(6) 8日、王党派のRPP-NとRPPが合流するための協議をしていたが、話がまとまらず合流は中止された。</p> <p>(7) 9日、ニディ副首相は、公式に憲法改正の議論はしていないが、ダハール首相はタスクフォースを設置して、NC、MC、マデシ諸政党の間で共通の理解を得たいと考えている旨述べた。</p> <p>(8) 10日、選挙管理委員会は、次回選挙から比例代表で選出される議員の割合を1.5%までとすることを提案した。</p> <p>(9) 11日、ダハール首相は、NCの下部組織の学生連合での選挙が終わり次第、NC所属議員の大臣任命が行われるであろうと述べた。</p> <p>(10) 11日、選挙管理委員会は下院と州議会において3分の1の女性議員とする規定を設ける提案をした。</p> <p>(11) 12日、ディーパック・ボハラ供給大臣 (RPP)、ビクラム・パンデ土地改革・管理大臣 (RPP)、ジャヤ・デブ・ジョシ (CPN-U) がそれぞれ任命された。</p> <p>(12) 14日、ジャナルダン・シャルマ・エネルギー大臣 (MC)、ヒトラジ・パンデ連邦・地方開発大臣 (MC)、スレンドラ・クマル・カルキ情報・通信大臣 (MC)、アザヤ・シャンカル・ナヤック法務・司法・議会担当大臣 (MC)、ダニ・ラム・ポウデル大臣 (MC) がそれぞれ任命された。</p>

	<p>(13) 15日、ニディ副首相兼内務大臣は、マデシによる抗議活動で亡くなった68人を殉難者として認定した。</p> <p>(14) 18日、地方自治体再編成委員会（LLRC）は、全国を565の地方自治体に再編成する提案をしたが、多くの議員が同提案を批判した。</p> <p>(15) 18日、内閣は、タライでの抗議活動で殉難者を出した遺族に対して、各1家庭に対し100万ルピー支出することを決定した。</p> <p>(16) 19日、NCの下部組織であるネパール学生連合の選挙において、デウバ派のナイン・シン・マハルが新会長として選出された。</p> <p>(17) 23日、ダハール首相は、地方自治体の再編成が決まり次第、地方選挙の準備に取りかかるように選挙管理委員会に指示した。</p> <p>(18) 26日、プラカシュ・シャラン・マハト外務大臣、バル・クリシュナ・カード国防大臣、アルジュン・ナルシン・KC都市開発大臣、ジワン・バハドゥル・シャヒ文化・観光・民間航空大臣、スルヤマン・グルン労働・雇用大臣、ケシャブ・クマル・ブダトキ総務大臣、シャンカル・バンドリ森林・土壌保全大臣、シタ・デビ・ヤバブ平和・復興大臣、ナビンドラ・ラージ・ジョシ産業大臣、ディパック・ギリ灌漑大臣、リダヤム・ラム・タミ協同組合・貧困緩和大臣、ロミ・ゴーチャン・タカリ商業大臣、ガガン・タパ保健・人口大臣がそれぞれ任命された。所属政党はすべてNC。</p>
<p>外交</p>	<p>(1) 3日、インドのモディ首相は、ネパール立法議会で首相が選出された直後にダハール新首相に電話をして首相就任を祝うと共に、インド訪問を招請した。</p> <p>(2) 3日、呉春太駐ネパール中国大使は、ダハール首相に電話をして首相就任を祝った。</p> <p>(3) 9日、ダハール首相は、ネパール訪問中の季志業・中国現代国際関係研究院院長に対し、習近平中国国家主席をネパールに歓迎したい旨述べた。</p> <p>(4) 16日、マハラ副首相兼財務大臣は訪中し王毅外相と会談した。マハラ副首相は、ネパール新政権がオリ前首相訪中時の合意事項を着実に実施していくと述べた。</p> <p>(5) 17日、マハラ副首相は李克強首相と会談し、バンドリ大統領の親書を渡し、習近平国家主席のネパール訪問を招請した。</p> <p>(6) 19日、ビマレンドラ・ニディ副首相は訪印し、スワラジ外相と会談した。また、ニディ副首相は、ムカジー大統領とも会談し、同大統領のネパール訪問を招請した。</p> <p>(7) 20日、ニディ副首相はモディ首相と会談し、ネパール新政権がマデシとジャナジャティの要求に対処するため、憲法を改正する意志がある旨伝えた。</p>